

Title	プログラム
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 5: 2
Issue Date	1990-10-27
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5264
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	プログラム

プログラム

10月27日(土) 9:00~12:30 A会場(講堂)

パネル討論 司会 大島 榮次

「科学技術協力の新しい理念」

—共存のための新たなフレームワークの構築を目指して—

パネリスト

市川 惇 信 国立環境研究所・東京工業大学
内田 崇 三井物産
茅 陽 一 東京大学
斎藤 優 中央大学
藤村 建夫 国際開発高等教育機構
柳下 和夫 三菱電機

10月27日(土) 14:30~17:20 A会場(講堂)

特別講演 座長 川崎 雅弘

1A1 国際化時代の我が国研究開発産業の課題

飯田 庸太郎 (三菱重工)

1A2 科学技術と医療 —私見—

森 巨 (科学技術会議)

10月28日(日) 9:00~12:00 B会場(W 241)

一般講演 座長 池島 政広

2B1 C A T-R A Tモデルによる戦略的研究開発体制構築の方法

—守りから攻めのR&Dへ—

○大野 満秀, 水島 温夫 (三菱総合研究所)

2B2 R&Dにおける情報化戦略

○土橋 健太郎, 野村 武司, 笹川 雅幸 (野村総合研究所)

2B3 技術革新をめぐる現代企業の戦略と組織

○小山 和伸 (神奈川大学)

2B4 民間企業の研究開発活動の実態

—大企業と研究開発型中小企業の差異—

○栗原 清一, 大熊 和彦 (政策科学研究所), 青島 矢一 (一橋大学)

2B5 研究・技術者の労働時間と処遇評価

○永田 晃也 (未来工学研究所)

2B6 大規模システム開発における評価メジャーの適用

○佐藤 庄市, 澤田 三郎, 桑原 裕, 松田 正敏 (日立製作所)

2B7 新事業成功確率曲線

—研究開発テーマの選択—

大江 建 (大江事務所), ○本荘 修二 (ボストンコンサルティンググループ), プルース・メリフィールド (ペンシルベニア大学)

10月28日(日) 9:00~12:00 C会場(W 242)

一般講演 座長 松本 三和夫

2C1 我が国の科学技術政策形成における審議会組織の機能

○田中 洋一, 平澤 冷 (東京大学)

2C2 The Japanese Government's Promotion of Basic Research: An

Example of Vision Policy Implementation

○Janice Cassidy (科学技術政策研究所)

2C3 研究助成システムの現状と評価

○加藤 毅, 小林 信一 (東京工業大学)

2C4 技術予測・アセスメント研究の新たな展開

—技術発展の羅針盤づくりを目指して—

○近藤 悟 (未来工学研究所)

2C5 An Overview of Bibliometrics

○Diana Hicks (科学技術政策研究所)

2C6 若年層の科学技術離れの傾向について

○平野 千博, 佐藤 悦男 (科学技術政策研究所)

2C7 研究学園都市における研究開発機能の集積効果

○葛城 邦雄, (三井情報開発), 丹羽 富士雄 (筑波大学), 江口 至洋 (三井情報開発)

10月28日(日) 9:30~12:00 D会場(W 343)

シンクタンクセッション 座長 長岡 昌

2D1 経済企画庁経済研究所における産学官研究協力

○安田 晴 (経済研究所)

2D2 総合研究開発機構の現状と課題

○杉本 金男 (総合研究開発機構)

2D3 通商産業研究所の活動状況と今後の課題

○太田 房江 (通商産業研究所)

2D4 科学技術政策研究所(NISTEP)における国際研究交流活動

○尾藤 隆 (科学技術政策研究所)

2D5 郵政研究所の活動内容

○内田 幸一 (郵政研究所)

10月28日(日) 13:00~17:30 B会場(W 241)

シンポジウム 司会 James R. Lincoln/Orilando Camargo

「我が国の科学技術環境の国際化」

—外資系企業の日本での経験から—

(1) 事例報告

2B8 ハイテク企業のR&Dの国際化

中田 義直 (日本A T & T, A T & Tベル研究所)

2B9 New Opportunities in the Changing R&D-Environment of Japan

Stefan Speidel (シーメンズ)

2B10 テキサス・インスツルメンツ(TI)における研究・技術開発

—日本TIの役割—

堀内 豊太郎 (日本テキサス・インスツルメンツ)

2B11 和魂洋才—合併企業の開発マネジメント

盛 満利 (横河・ヒューレット・パッカド)

2B12 Air Liquide's R&D in Japan: Transnational Operation of a

Medium Size Chemical Company

Jean M. Friedt (エール・リキード・ラボラトリーズ)

2B13 Hoechst in Japan—A Main Pillar in a Global R&D Network

Gunter Prank (ヘキスト・ジャパン)

2B14 デュボン社の日本における研究開発

塚本 朗 (デュボン・ジャパン)

2B15 TECHNOLOGY IN と OUT

伊藤宇一 (イーストマン・コダック・ジャパン)

(2) 総合討論

コメンテータ

今井 賢一 一橋大学

弘岡 正明 神戸大学

藤盛 紀明 S. Technology Center America